

プログラミング大会

水やり自動ロボ 最優秀賞を受賞

古川三小の矢端さん

「みんなの mirai」をテーマに製作したアプリやロボットの完成度を競う県小学生プログラミング大会（河北新報社、東北工大など主催）が13日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。最優秀賞・清水建設賞には大崎市古川三小5年の矢端千佳さん（11）が選ばれた。

事前審査を通過した9組13人が順番に作品を発表。同大工学部電気電子工学科の室山真徳教授ら4人が発想、表現、技術の観点で作

最優秀賞を受賞した矢端さん



品を審査した。

矢端さんの作品「日本の農作業のみらい」ロボットによる食糧不足の解決」は農作業での水やりや鳥を追い払うための音出しを自動で行うロボット。田畑に設置した機器を無線通信でパソコンとつなぎ、作動状況を確認できる。祖父が体を痛めて農業をやめたのをきっかけに、持続可能な農業

の在り方を考えた。

矢端さんは来年3月、東京で開かれる全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。「県の代表として堂々と発表していきたい」と意気込みを語った。

他の上位入賞者は次の通り。（敬称略）

- ▽優秀賞 阿部新（大河原町大河原小5年）
- ▽優良賞 永沢旭基（仙台市蒲町小6年）
- ▽審査員特別賞 香味宙樹（ホライゾン学園仙台小4年）